

科目名	特別活動		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める中学校・高等学校及び養護教諭の免許取得に必要な「教職に関する科目」のうち、「教育課程及び指導法に関する科目」に対応するものである。

中学校・高等学校及び養護教諭の免許状を取得しようとする者は、必修であるので留意すること。

科目の概要

特別活動は、学校教育における各教科以外の学習の中心となるものである。しかし学習指導要領に示された特別活動の本質や理念が一般的には十分に理解されているとは言えない。特別活動の目的や方法について正しい理解のもとに指導できるよう下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。また、学生が自ら小中学校で体験した特別活動に関する思い出や課題意識を相互に意見交換し、教師として児童生徒の自主的な活動を指導できるようにする。

学修目標

- ・学校教育の今日的課題である「生きる力」の育成に資する特別活動の意義や役割について考察し、特別活動の歴史的変遷や領域ごとの特色について理解する。
- ・望ましい集団活動を組織し、児童生徒が自ら話し合い、協力して実践するための指導のあり方について考察する。
- ・学級活動の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する。

内容

1	特別活動の成立	近代公教育の出発と教育実践・特別活動とは何か
2	特別活動の展開	学習指導要領の変遷と教科外教育
3	特別活動の目的	学校における集団活動の教育的意義
4	特別活動の指導論	児童生徒の自主性・社会性を育てる視点
5	特別活動の教育評価論	望ましい人間関係のために
6	児童生徒の可能性をひらく学校生活づくり	学級崩壊をおこさない集団の育成
7	学級活動の展開事例と学級活動(2)の指導案の作成	
8	自発的、自治的活動と教師	学級や学校の生活づくりの指導
9	学級の間人間関係や集団生活の形成者として	生徒指導、キャリア教育の基礎
10	社会参画につながる児童会・生徒会活動	自分らしさを創りだす力の育成
11	児童生徒の可能性をひらく学校行事の創造	教科領域を貫く教育実践の基軸
12	学級活動模擬授業の進め方について	指導案の検討、模擬授業の準備
13	模擬授業の実践(1) 学生の選んだ主題	
14	模擬授業の実践(2) 学生の選んだ主題	
15	模擬授業の評価とまとめ	

評価

レポート課題60%及び平常の授業態度、提出物等40%により評価を行い、60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】教科書等の該当ページに目を通しておく。

【事後学修】本時の学習課題について自分の言葉でまとめをする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】狩野浩二編著 『あたらしい特別活動』現場と結ぶ教職シリーズ12 あいり出版

文部科学省 『中学校（高等学校）学習指導要領』 政府刊行物

文部科学省 『中学校（高等学校）学習指導要領解説 特別活動編』 政府刊行物（ぎょうせい出版）

【推薦書】押谷由夫、宮川八岐編 『道徳・特別活動重要用語300の基礎知識』 明治図書 375.35/D

科目名	生徒指導		
担当教員名	宮川 保之		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

教育職員免許法に定められた「教科に関する科目」のうち、「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」として開講する。講義・演習の内容は、生徒指導が児童・生徒一人一人の個性の伸長を図るとともに、社会的資質や行動力を育成するものであること。教員として必要不可欠な生徒理解の方法、問題行動等の未然防止、キャリア教育、学校の組織的な生徒指導の方策などを学修する。

科目の概要

生徒指導は、学習指導とともに学校教育の重要な機能であること。そして、児童・生徒の人間性の発達を支援することを主目的とする教育活動であること。学級集団において教師が児童・生徒の自己肯定感や自律的に行動する資質や能力を高めること。家庭や地域社会、教育相談機関等の青少年の健全育成諸機関等との連携を図る方策などについて、問題解決討議法や事例研究等により、学修を深める。

学修目標（＝到達目標）

・生徒理解の方法を理解し、事例研究法により生徒指導の方策を身に付ける。・生徒の心身の発達に係る概念や発達を促す指導方法を身に付ける。・児童・生徒の意識調査や「風景構成法」の援用により、児童・生徒とのよい人間関係づくりや深い生徒理解に基づく指導とその方法を身に付ける。・いじめや不登校、反社会的な行動の予測と対応並びに問題行動等の未然防止に係る実践的な指導力を身に付ける。・キャリア教育や自己肯定感を高める指導・援助の方策を身に付ける。

内容

心豊かで、積極的に社会参加し、自己を活かしていこうとする児童・生徒を育成するためには、幼児期から児童期、青年期に至る発達段階のそれぞれの心理的特性、社会的位置、自己概念などを深く理解し、実践的な指導力を求められている。また、犯罪心理学の知見から、青少年の非行の予防等に関する知識や指導力を求められる。本講座では、問題解決討議法、役割等技法、事例研究法、シミュレーション技法等を慢用し、生徒指導に係る諸課題の解決に資する知識や技能の修得と活用を行う。

1	授業の目的と内容及び評価等に関するガイダンス 生徒指導の意義と原理
2	生徒指導と人間形成 生徒指導の理念と現実(生徒指導の機能を活かす学習指導)
3	生徒指導の変遷と課題 生徒指導と教育課程(学習指導案等の検討)
4	生徒指導と人間観 生徒理解とその方法(観察、検査等の実際)
5	生徒指導と人間関係の構築 個別の指導と集団としての機能を高める指導
6	生徒指導と教育相談 カウンセリング・コーチング等の実際
7	学校不適応と問題行動 犯罪心理学の知見と生徒指導 自己概念の形成と生徒指導
8	不登校の発生機序と要因及び背景(事伊1分析) 不登校の未然防止と指導・援助の方策
9	いじめの発生機序と構造 ヴァルネラビリティやいじめの許容空間と防止
10	生徒指導の機能を活かす学級経営 生徒会活動や部活動等の指導
11	学校経営と生徒指導の実際(組織貢献力の高湯) 懲戒の在り方と体罰の防止
12	健全育成のための施策の現状と課題 家庭・地場社会・関係諸機関との連携

13	進路指導の実際 各教科等の学習活動とキャリア教育の実際
14	事例研究(不登校、いじめ) 事例研究(反社会的行動等の予防・未然防止及び問題解決)
15	事例研究2(キャリア教育、職業体験等の実際と指導)、生徒指導論の構築(小論文)

評価

事前課題報告書並びに各授業時の小論文(レポート)30点、集団討議や事例研究等の成果物筆記試験(30点)、最終試験(40点)を総合し、総合評価60点以上を合格とする。なお、評価の観点や方法については、第1回目の授業及び学習内容に即して明示する。

授業外学習

【事前予習】前時に、テキストとして用いる『生徒指導提要』に記された事項を事前課題として示すので、学校ボランティア等で得た知見を基に事前課題報告書を作成し、授業に臨むこと。

【事後学修】授業で行った集団討議や事例検討並びに学習内容をもとに小論文(小レポート)を作成し、提出すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『生徒指導提要~(文部科【教科書】『生徒指導提要~(文部科学省・平成22年3月刊),
『中学校キャリア教育の手引き』(文部科学省・平成23年3月刊)

【推薦書】吉田辰雄編著『生徒指導・進路指導論』(図書文化)、

【参考図書】中央教育審議会答申『次代を担う自立した青少年の育成に向けて』(平成19年1月30日)

科目名	教育相談		
担当教員名	上原 行義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

〔科目の性格〕

学級担任としての教育相談的対応のためには、他の教師やスクールカウンセラーとの連携による組織的な指導援助を欠かすことができない。学生自身が主体的に学び、相互に意見交流をする体験を通して、教師として大切な協働の精神や人間関係形成力を身につける。

〔科目の概要〕

学校教育において個に応じたきめ細かな指導を進めるために、児童生徒理解を欠かすことはできない。指導にあたる教師が児童生徒のありのままを受け止め、教育相談的にかかわることができるようにするため、下記の学修目標にかかわる事項について具体的に考察する。

〔学修目標〕

- (1) 教育相談やカウンセリングの歴史及び基本的な理論について理解し、学校教育相談の意義や課題について考察する。
- (2) 学校において生徒指導の中核をなす教育相談の果たす役割について理解し、カウンセリングマインドによる具体的な指導のあり方について考察する。
- (3) 学校教育相談の進め方について理解し、カウンセリングの基礎的な技能を身につける。

内容

- 第1回 学校教育と教育相談
- 第2回 乳児期・幼児期における子どもの問題
- 第3回 小学校における子どもの問題
- 第4回 中学校・高等学校における子どもの問題
- 第5回 発達障害の理解と支援
- 第6回 精神疾患の理解と支援
- 第7回 教育相談の理論
- 第8回 教育相談の技法
- 第9回 学級経営に生かす教育相談
- 第10回 学校で使えるアセスメント
- 第11回 保護者への理解と支援
- 第12回 校内及び関係機関との連携、カウンセリングの実際
- 第13回 スクールカウンセラーの活用、カウンセリング模擬体験
- 第14回 カウンセリング実習(1)身内の問題
- 第15回 まとめ、カウンセリング実習(2)将来の問題

評価

毎回の授業の振り返り、レポート課題、発言等の平常点の評価40%、試験による評価60%により評価する。総合評価60点以上を合格とする。

合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

授業外学習

【事前予習】教科書等の該当ページに目を通しておく。

【事後学修】本時の学習課題について自分の言葉でまとめをする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

〔教科書〕

「教師のたまごのための教育相談」会沢信彦、安齊順子 編著 北樹出版

〔推薦書〕

「小学校学習指導要領」文部科学省

「学級教育相談入門」有村久春 著 金子書房

「生徒指導と教育相談」教職教育講座第5巻 長谷川 栄、杉原一昭 編 共同出版

科目名	教育実践論		
担当教員名	岩井 雄一、星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教職課程の総仕上げとして行われる授業です。学生のみなさんが教職に関する科目、教科に関する科目、教育実習、その他で学んだ学修内容を統合して、それぞれが教員として最小限必要となる資質や能力を身につけたかどうかを確認し、不足しているところがあれば、それを補う勉強をします。

履修カルテに基づいて、学生のみなさんと個人面談を行います。その上で、どのような資質や能力が形成されてきたか、不足している資質や能力はどのようなものかを確認し、その不足した資質や能力を補うような勉強を行います。内容によっては、講義や講演を聴いたり、近隣の学校での研究会に参加したり、模擬授業や教材研究を行うこともあります。学生のみなさんひとりひとりに対応した演習を実施します。

教員として最小限必要となる資質や能力を身につけることが目標です。

内容	
1	オリエンテーション，これまでの教職課程の振り返る（講義，全体討議）
2	教職の意義・役割・職務内容，子どもに対する責任について理解する
3	教育に関する問題点，社会からの要請を考える（調査演習・グループ討議）
4	教育に関する問題点・自らの課題を発見する（現地調査）
5	自己課題とテーマを発表する（プレゼンテーション，レポート）
6	生徒の生活環境・教育環境を知る（グループ調査演習，事例研究）
7	現在の生徒像からみた望ましい学級経営案の検討
8	生徒の進路指導に関わる社会情勢の調査と理解
9	学級経営案を発表する（プレゼンテーション，レポート）
10	教育実習の振り返りと教科の指導力を考える（講義，グループ討議）
11	教育内容の基本的事項の確認（個人演習）
12	教育方法の基本的事項の確認（個人演習）
13	模擬授業
14	模擬授業
15	まとめ（レポート）

評価
演習・実習への参加態度（4割）、教職履修カルテ（4割）、講義時間中のミニレポート（2割）を総合的に評価して、60点以上を合格とします。

授業外学習
【事前予習】シラバスを参照し、事前に該当部分について報告や問題提議をする準備をしておく。
【事後学修】グループ討議や演習等の内容について取りまとめをし、教師としての自分の適性を考える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて随時紹介します。

科目名	教職実践演習（中学校）		
担当教員名	岩井 雄一、星野 祐子、坂口 智、狩野 浩二 他		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教職課程の総仕上げとして行われる授業です。学生のみなさんが教職に関する科目、教科に関する科目、教育実習、その他で学んだ学修内容を統合して、それぞれが教員として最小限必要となる資質や能力を身につけたかどうかを確認し、不足しているところがあれば、それを補う勉強をします。

履修カルテに基づいて、学生のみなさんと個人面談を行います。その上で、どのような資質や能力が形成されてきたか、不足している資質や能力はどのようなものかを確認し、その不足した資質や能力を補うような勉強を行います。内容によっては、講義や講演を聴いたり、近隣の学校での研究会に参加したり、模擬授業や教材研究を行うこともあります。学生のみなさんひとりひとりに対応した演習を実施します。

教員として最小限必要となる資質や能力を身につけることが目標です。

内容	
1	オリエンテーション，これまでの教職課程を振り返る（講義，全体討議）
2	教職の意義・役割・職務内容，子どもに対する責任について理解する
3	教育に関する問題点，社会からの要請を考える（調査演習・グループ討議）
4	教育に関する問題点・自らの課題を発見する（現地調査）
5	自己課題とテーマを発表する（プレゼンテーション，レポート）
6	生徒の生活環境・教育環境を知る（グループ調査演習，事例研究）
7	現在の生徒像からみた望ましい学級経営案の検討
8	生徒の進路指導に関わる社会情勢の調査と理解
9	学級経営案を発表する（プレゼンテーション，レポート）
10	教育実習の振り返りと教科の指導力を考える（講義，グループ討議）
11	教育内容の基本的事項の確認（個人演習）
12	教育方法の基本的事項の確認（個人演習）
13	模擬授業
14	模擬授業
15	まとめ（レポート）

評価
演習・実習への参加態度（4割）、教職履修カルテ（4割）、講義時間中のミニレポート（2割）を総合的に評価して、60点以上を合格とします。

授業外学習
【事前予習】シラバスを参照し、事前に該当部分について報告や問題提議をする準備をしておく。
【事後学修】グループ討議や演習等の内容について取りまとめをし、教師としての自分の適性を考える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて随時紹介します。

科目名	教育課程論		
担当教員名	曾 貧		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語） / 中学校教諭二種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、教育職員免許法に定められた「教育課程及び指導法に関する科目」のうち、もっとも最初に掲げられている「教育課程の意義及び編成の方法」について学修します。

教員を目指すみなさんが2年生前期に受講し、これから勉強していく各教科（英語・国語など）、領域（道徳・特別活動など）等の指導法に関する科目がそれぞれどのように影響し合い、子どもたちの学習経験を実際に創りあげていくのかを考えることとなります。1年生で学習する「教育学概論」「教職入門」に引き続き学ぶ科目です。このあとは、この科目の学習を生かして、各科目ごとの「教科教育科目」「教育実習」を学んでいくこととなります。

各学校ごとに編成される教育課程の意味がわかること、教育課程と授業との関わりについての意味がわかること、教育課程と児童の学習に関する基礎理論を理解すること、がねらいです。

内容

以下、取り上げる内容について列記します（順不同）。

1. これからの時代における教育課程
2. 教育の目的と方法
3. 教育方法の基礎理論
4. 学習理論の展開
5. 問題解決学習の方法
6. 学習形態と学習指導
7. 教育課程の編成
8. 学習指導要領と教育課程
9. 学習指導要領の変遷
10. 生活科と理科における内容構成
11. 現行学習指導要領の特徴
12. 生活科と社会科における内容構成
13. 授業における教師の課題 ゆさぶり
14. 授業における教師の課題 誤答
15. まとめ

評価

個別学習・組織学習票（20点）と課題研究（80点）を総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】テキストの該当章を予め読み、概要をまとめ、疑問点を整理し、講義に持参します。

【事後学修】班発表の内容や班討論の内容を整理し、予習と引き比べながら振り返りレポートを作成します。次回の講義の

際、持参します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】松田稔樹,星野敦子,狩野浩二,津吹卓『自ら学び考える教職教養 教育課程・制度・法規』学文社、その他配付資料を使います。

【推薦書】斎藤喜博『授業の展開（新装判）』 国土社

横須賀薫『授業の深さをはかるもの』 教育出版

箱石泰和編『授業 = 子どもとともに探求する旅』 教育出版

【参考図書】横須賀薫編『授業研究用語辞典』 教育出版 他、教室で随時紹介します。

科目名	学校経営と学校図書館		
担当教員名	小林 路子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	司書教諭		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

司書教諭資格取得のための必修科目である。

科目の概要

この講義では、学校図書館の理念や現在の施策を知り、目指す学校図書館像や学校図書館の先進事例について学ぶ。さらに、学校図書館の運営や環境づくり、学校図書館を活用した教科の学習活動や読書活動の具体的事例やその手法を学ぶ。そのため、前半は講義、後半は演習が多い。

学修目標(=到達目標)

- ・学校図書館法や学校図書館に関わる法的な根拠を知り、学校図書館の果たす役割を認識できる。
- ・先進的な学校図書館運営について具体例を知り、これからの学校図書館像をイメージできる。
- ・司書教諭は学校内でどう活動すべきか理解し、具体的な教科の授業や読書活動の手法等を身につける。

内容

前半は講義、後半は作業・演習が多い。

グループでの交流を多くする。

1	オリエンテーション、授業の方針等
2	学校図書館の理念と教育的役割
3	学校図書館の歩みと近年の動き
4	学校図書館活用教育の実際～多様な活動を知ろう
5	めざす学校図書館像のイメージを持とう
6	先進的な学校図書館を知る 1
7	先進的な学校図書館を知る 2(調査)
8	先進的な学校図書館を知る 3(交流)
9	学校図書館のしくみをしよう1 司書教諭・学校司書の仕事と役割
10	学校図書館のしくみをしよう2 学校図書館運営組織と運営計画・学校図書館づくり
11	学校図書館活用の実例1 読書活動の多様性
12	学校図書館活用の実例2 教科の授業で情報活用能力をつける
13	学校図書館活用の実例3 情報活用能力育成スキル1
14	学校図書館活用の実例4 情報活用能力育成スキル2
15	まとめ

評価

課題提出（調査報告書や資料作成）	30%
課題発表（グループ討議・交流）	20%
定期試験（記述式）	30%
授業への参加度	20% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】テキストの内容についてあらかじめ読んでおくこと。資料が必要な時は作成すること。1,2時間程度
- 【事後学修】報告書や資料の作成等が出されるときには、次時に提出すること。2時間程度

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】『探究型学習にとりくもう学校図書館の活用名人になる』国土社 全国学校図書館協議会編 ￥1,600
- 【推薦書】『学校図書館で育む情報リテラシー』全国学校図書館協議会 堀田達也・塩谷京子著
- 『鳥取・羽合小 「アロハ図書館タイム」はじめます。』全国学校図書館協議会 北田明美
- 【参考図書】『クシュラの奇跡』のら書房 ドロシー・バトラー 百々由利子
- 『絵本の力』岩波書店 河合隼雄・松居直・柳田邦夫

科目名	教育実習		
担当教員名	岩井 雄一、高橋 京子、星野 祐子、坂口 智		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

- 1、教職関連科目、教科教育法、教育実習 で習得してきた内容を踏まえて、教育実習 では、実際に学校現場で授業を担当する。これまでに修得してきた、教授、学習、教育方法等に関する知識を実践的な知識に変換し、教員を目指すものとしての実践的能力を身につける。
- 2、学校現場での実際の勤務経験を通して、自身の教職についての適性を見極める。

内容

教育実習協力校における3週間以上の授業の担当（中学校国語科）による教育実習を行う。

評価

実習校からの評価を100点に換算して評定する。60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】教育実習 の内容と合わせて、実習校について実践的な内容の整理と心構えを作る。
- 【事後学修】教育実習を通して気づいたことをもとに、教師としての今後の自分の在り方について考える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しない。参考書等は授業時に指示する。

科目名	教育実習		
担当教員名	岩井 雄一、高橋 京子、星野 祐子、坂口 智		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教科教育法や教職関連科目等によって習得してきた教職に関する知識・理論・方法論を踏まえた上で、実際に教育実習を行うに当たって具体的な事前、中間、事後の指導を行う。この指導により参観実習及び教壇実習の成果を最大限に引き出し、教員を目指すものとしての責任を自覚させ、実際の授業運営能力を向上させることをねらいとする。

なお、本科目は、教育職員免許法に定める「教育実習」の内の1単位に相当する。

内容

- 1、事前指導（8時限相当の時間を配当する）
 - （1）教育実習オリエンテーション
 - （2）実習時における勤務、サービスの心得
 - （3）実習記録の作成法
 - （4）授業の構成と指導案の作成
 - （5）実習校の訪問
- 2、中間指導（4時限相当の時間を配当する）
 - （1）実習時における課題の把握
 - （2）実習日誌の中間提出
 - （3）研究授業及び実習についての指導
- 3、事後指導（3時限相当の時間を配当する）
 - （1）教育実習の総括的反省と今後の課題
 - （2）実習校の訪問

評価

実習校からの評価を参考に100点満点で評定する。60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】参考資料を基に実習校について調べ、教育実習に対する備えをする。
- 【事後学修】教育実習に向けた疑問等の解消及び実習日誌等のまとめを行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の際に指示する。

科目名	教育実習		
担当教員名	岩井 雄一、高橋 京子、星野 祐子、坂口 智		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-教職・司書教諭課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

- 1、教職関連科目、教科教育法、教育実習 で習得してきた内容を踏まえて、教育実習 では、実際に学校現場で授業を担当する。これまでに修得してきた、教授、学習、教育方法等に関する知識を実践的な知識に変換し、教員を目指すものとしての実践的能力を身につける。
- 2、学校現場での実際の勤務経験を通して、自身の教職についての適性を見極める。

内容

教育実習協力校における2週間の授業担当による教育実習を行う。

評価

実習校からの評価を100点に換算して評定する。60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】これまでの教職教養や教科教育法等について整理しておくこと。
- 【事後学修】授業で学んだ事柄と実際に教育実習を行って試みての課題の違いを整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しない。参考書等は授業時に指示する。